

第33回 河上徹太郎記念ヨット競技大会



故河上徹太郎先生は岩国のご出身で、文人として、また文学評論家、音楽評論家として多方面で活躍され、芸術文化の発展と後進の育成に尽くされた功績は、高く評価され文化功労者にも選ばれた方であり、昭和55年9月22日、78歳をもって永眠されました。

河上先生は、故郷の芸防の海をこよなく愛され、その著書の中にも「正面の阿多田島は小丘陵型で色はエメラルド・グリーン、その後の黒神島は断崖絶壁でコバルト・ブルー、その左の能美島は傾斜した平野に牧歌調、その手前の宮島は、本土とも島とも全く違った深山幽谷でウルトラ・マリンといった調子である。私の12フィートのヨットは、巨艦の檣が水平線に見えると、もう間に合わない。横波をくらって顛覆しないように、警戒体制に入るのである。」(河上徹太郎行状記)と書かれています。

先生は、「下駄ヨット」なる和船改造型を始め、スナイプ、フィン「徹号」、そしてクルーザー「安芸」を操るヨットマンでした。

本大会は、先生のこよなく愛された芸防の海で、故河上徹太郎先生を偲び開催するヨットレースで、今回で33回目を迎えます。

第33回河上徹太郎記念ヨット競技大会実施要綱

主催 日本セーリング連盟外洋西内海

大会運営 日本セーリング連盟外洋西内海宮島フリート

協賛 一般財団法人 日本モーターボート競走会宮島支部

日程 平成26年9月7日(日)

- | | | |
|---------|-------------|-------------------|
| (1) 開会式 | 09:00~ | 阿多田島長浦鼻沖海上 |
| (2) 競技 | 09:30~12:30 | 阿多田島長浦鼻沖~廿日市市貯木場沖 |
| (3) 閉会式 | レース終了後随時 | 五日市漁港フィッシャリーナ |
| (4) 懇親会 | 閉会式終了後 | 五日市漁港フィッシャリーナ |

競技

1 規則

国際セーリング競技規則(RRS)2013~2016, ORCレーティング規則, IRCレーティング規則, 本大会実施要綱及び帆走指書による。

2 コース

阿多田島長浦鼻沖~廿日市市貯木場沖 約9.5海里

3 クラス

3-1 クラス分類

- (1) オープン(クルージング)クラス
- (2) ORCCクラス
- (3) IRCクラス

3-2 クラスの成立

各クラスは、3艇以上の参加をもって成立する。

3-3 ダブルエントリー

ORCCクラス及びIRCクラスについては、それぞれにダブルエントリーすることができる。

4 参加資格

- (1) 法令及び各クラスルールを満たす整備がなされた艇で、レース委員会が認めたものであること。
- (2) 著しく帆走性能の劣る艇, 安全性に疑問のある艇は, 出場を制限する場合がある。
- (3) 全長6m以上のモノハル・クルーザーヨットで, 艇に適合する海技免許所持者が乗り組み, かつ, 船舶検査に合格している艇であること。
- (4) ヨット保険の対人・対物・搭乗者・第三者賠償責任保険に加入していること。
- (5) レース委員会が決定するレーティングを承諾する艇であること。
- (6) ORCCクラスに参加する艇は, 本年度有効なORCレーティング証書を所有していること。

(7) IRCクラスに参加する艇は、本年度有効なIRCレーティング証書を所有していること。

5 搭載品

(1) ライフ・ジャケット

全ての参加者は、競技中、必ずライフ・ジャケットを着用しなければならない。

(2) アンカー

艇に有効なアンカー及びアンカーロープ（又はアンカーチェーン）を搭載すること。

(3) 通信機器

通信手段として携帯電話又はVHF無線機を搭載すること。

6 スタート

平成26年9月7日（日）09：30全艇同時スタートする。

7 順位決定

(1) 順位は、係数×所要時間で算出した修正時間の少ないものを上位とする。

(2) オープンクラスの順位は、レース委員会が定めたレーティングを用いて算出する。

(3) ORCCクラスの順位は、ORCクラブOFFSHORE Time-on-Timeにより算出する。

(4) IRCクラスの順位は、TCCTime-on-Timeにより算出する。

(5) 修正時間がタイの場合は、着順によってタイを解く。

8 賞

各クラスの第1位から第3位までの艇に、賞が与えられる。

9 参加申込

(1) 参加料 一つのクラスのみエントリーする場合 8,000円
ORCCクラスとIRCクラスにダブルエントリーする場合 10,000円
親睦会（1人当たり） 2,500円

(2) 振込口座 広島銀行 廿日市支店（店番034）
普通口座 口座番号1117446

がいようにしないかい みやしま にし あきら
外洋西内海 宮島フリート 西 啓

※ 氏名欄に艇名を明記のこと。【例】プレアデス ニシ アキラ

(3) 提出書類 ① 参加申込書
② 参加料の振込証書（振込領収書）のコピー
③ ヨット保険証書のコピー
④ 本年度有効なORCレーティング証書のコピー（ORCCクラスのみ）
⑤ 本年度有効なIRCレーティング証書のコピー（IRCクラスのみ）

- (4) 提出先 〒738-0011 廿日市市駅前8番4号 西 啓 方
日本セーリング連盟外洋西内海宮島フリート事務局
FAXによる場合：0829-32-2894
E-mailによる場合：a-nishi@ms4.megaegg.ne.jp
- (5) 申込期限 平成26年8月30日（土）必着のこと。

10 安全責任

レース中、回航中を問わず、艇とその乗員全ての安全責任は各艇のオーナー及び艇長にあり、主催・大会運営・協力・協賛の各団体は、このレースに係わる人的及び物的損害に対して、一切の責任を負わない。

11 懇親会（河上先生を偲ぶ会）

- (1) 懇親会は、レース終了後、五日市漁港フィッシャリーナにおいて開催する。
- (2) 懇親会に参加を希望する場合は、参加申込時に出席者数を明記のうえ、懇親会参加料を添えて申し込みこと。
- ※ 懇親会の会場にはテーブル・椅子がないため、参加者各自で敷物等を用意してください。**
- (3) 懇親会の参加に際して、五日市漁港フィッシャリーナに係留を希望する場合は、参加申込時に係留する旨を明記すること。
- なお、懇親会に参加する艇の係留費は、主催者側で負担する。

12 問合せ先

- (1) レースに関すること
山本 寅太郎（レース委員長） 携 帯：090-2800-7183
- (2) レーティングに関すること。
田村 治久（外洋西内海計測委員） FAX：082-278-7363
E-mail：BYQ00603@nifty.ne.jp
- (3) 申込みに関すること
西 啓（宮島フリート事務局） TEL：0829-32-2894
E-mail：a-nishi@ms4.megaegg.ne.jp
携 帯：090-8244-8693

第33回河上徹太郎記念ヨット競技大会帆走指示書

1 適用規則

本レースは、国際セーリング競技規則（RRS）2013～2016、ORCレーティング規則、IRCレーティング規則、本大会実施要綱及び帆走指示書により行う。

2 レース日程

平成26年9月7日（日）

- | | | |
|---------|-------------|-------------------|
| (1) 開会式 | 09:00～ | 阿多田島長浦鼻沖海上 |
| (2) 競技 | 09:30～12:30 | 阿多田島長浦鼻沖～廿日市市貯木場沖 |
| (3) 閉会式 | レース終了後随時 | 五日市漁港フィッシャリーナ |
| (4) 懇親会 | 閉会式終了後 | 五日市漁港フィッシャリーナ |

3 出艇申告

出艇申告は、レース当日（9月7日）、本部艇へ09:00までに提出すること。

4 レースコース

4-1 コースは阿多田島長浦鼻沖をスタートし、宮島と絵ノ島の間を通過し、廿日市市貯木場沖に至る約9.5海里とする。（別添コース図のとおり。）

ただし、コース図に記載した各マークの位置は、おおよその位置を示してもので、気象条件等により設置位置が異なることがある。

4-2 宮島周辺及び廿日市市貯木場沖の養殖筏設置海面内は、危険かつ漁業被害などの迷惑をかける恐れがあるため、航行を禁止する。

5 スタート信号

5-1 予告信号は、スタート5分前に**A旗**を掲揚し、音響1声を発する。

5-2 準備信号は、スタート4分前に**P旗**又は**I旗**（ゼネラル・リコール後のスタートの場合）を掲揚し、音響1声を発する。

5-3 1分前信号は、**P旗**又は**I旗**（ゼネラル・リコール後のスタートの場合）を降下し、長音1声を発する。

5-4 スタート信号は、**A旗**を降下し、音響1声を発する。

5-5 スタートを延期する場合は、**AP旗**を掲揚し、音響2声を発する。

5-5 延期したスタートを再開する場合は、**AP旗**を降下し、音響1声を発する。
この場合の予告信号は、**AP旗**降下の1分後に発する。

6 スタート

6-1 スタートラインは、ラインのスターボードの端となる**JSAFエンサイン**を掲げた本部船のポール又はマストと、ラインのポートの端となるスタートマーク（オレンジ色の三角すい形ブイ）の間とする。スタートラインの設置位置は、阿多田島長浦鼻沖とする。

6-2 スタート時刻は、9月7日（日）09：30に全艇同時スタートとし、本部船を右に見てスタートすること。

6-3 スタートラインは、スタート20分後に閉鎖する。

なお、スタートライン閉鎖までにスタートしなかった艇は「DNS」とする。これは、規則A4を変更している。

7 リコール

7-1 リコールがあった場合は、**X旗**を展開し、**音響1声**を発する。

7-2 リコールの通告は、音声をもって出来る限り知らせるが、確認は各艇の責任とする。

7-3 リコールを解消しない艇があっても、**X旗**はスタート4分後には降下する。

8 ゼネラル・リコール

8-1 ゼネラル・リコールの場合は、**第一代表旗**を掲揚し、**音響2声**を発する。

8-2 ゼネラル・リコール後のスタートは10分後とし、RRS30.1（I旗規則）を適用する。

8-3 **第一代表旗**を予告信号1分前（再スタート6分前）に降下し、**音響1声**を発する。

8-4 新しいスタートの準備信号は**I旗**とし、**I旗**はスタート1分前に降下する。

9 フィニッシュ

9-1 フィニッシュラインは、**JSAFエンサイン**を掲げた本部船のポール又はマストとフィニッシュマーク（オレンジ色の三角すい形ブイ）の間とする。

9-2 フィニッシュラインの設置位置は、廿日市市貯木場沖付近とする。

10 コース短縮

10-1 コース短縮する場合は、本部船に**S旗**を展開し、**音響2声**を発する。

10-2 コース短縮の通告は、可能な限り運営艇からの音声によりこれを行う。

10-3 コース短縮を行う場合のフィニッシュは、コース図に示すコースの付近の任意の位置とする。その場合、コースから離れていて不利益を被った艇があっても、救済の対象にならない。

11 タイムリミット

11-1 タイムリミットは、トップ艇のフィニッシュ後2時間とするが、レースの状況によっては変更することがある。ただし、12：30を超えることはない。

11-2 タイムリミット内にフィニッシュできない艇は、「DNF」とする。これは、規則35. A4及びA5を変更している。

12 帰着申告

12-1 帰着申告は、フィニッシュをもってこれに代える。

12-2 リタイヤした艇は、速やかに本部艇にその旨を伝えなければならない。

13 抗議

抗議の締め切りはレース終了後30分とし、抗議手数料は無料とする。

14 順位及び成績の決定方法






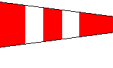


- 14-1 順位は、係数×所要時間で算出した修正時間の少ないものを上位とする。
- 14-2 オープンクラスの順位は、レース委員会が定めたレーティングを用いて算出する。
- 14-3 ORCCクラスの順位は、ORCクラブ OFFSHORE Time-on-Time により算出する。
- 14-4 IRCクラスの順位は、TCC Time-on-Time により算出する。
- 14-5 修正時間がタイの場合は、着順によってタイを解く。

15 賞

各クラスの第1位から第3位までの艇に、賞が与えられる。

16 その他

- 16-1 この海面は一般船舶又は漁船の往来が多く、レース艇はこれを避けること。また、運営艇から避航指示がある場合は、これに従うこと。
- 16-2 著しく遅れるなどレースの運営上支障をきたすと判断した艇や、安全上の問題を起こした艇には、リタイヤを勧告し、曳航などを行う場合がある。

JSAFエン サイン		X旗	
A旗		第1代表旗	
P旗		AP旗	
I旗		S旗	

第33回河上徹太郎記念ヨット競技大会コース図

